

一 ねらい

より高い目標を立て、希望と勇気をもつてくじけないうで努力する。

1 | (2)

二 資料について

(一) 出典 「第一線に立てる人々」

(二) 対象学年 第五学年または第六学年

三 展開の主要例

○ 龍門が四国へ行く決意をしたときの気持ち。

○ 龍門の絵に対する熱意について考える。

○ 龍門はどんなことを思っけて郷里へ帰ったのか考える。

四 その他

・ 参考資料：「年譜」保田龍門自筆、「龍門館竣工記念」冊子より 保田春彦

* 保田龍門像：中原悌二郎作（一九一五年）（和歌山県立近代美術館所蔵）

* 樽牛賞：（明治期の評論家・高山樽牛（一八七一—一九〇二）の没後、大正四年、

樽牛会が日本芸術院と二科会に樽牛賞金を贈った。）